

# ほんの森

図書館 ☎84-3311



## 親子のための講座

昔から歌いつがれてきたわらべうたを親子で一緒に歌ったり、体を動かして遊びながら楽しいひとときを過ごしましょう。

- 日 時／第1回 6月7日(木) 第2回 6月9日(土) いずれも午前10時～11時
- 場 所／2階ハイビジョンホール
- 内 容／わらべうた・絵本の読み聞かせなど
- 定 員／各回30組
- 申 込／カウンターまたは電話で、5月12日(土)からお申込ください。

図書館休館日  
毎週月曜日  
5月1日(火)・6月5日(火)

## 映 画 会

### 『トムとジェリー 火星へ行く』

日 時 5月20日(日)  
午前10時・午後2時  
上映時間 1時間15分  
場 所 2階ハイビジョンホール  
定 員 各回120名  
入 場 整理券(無料)を5月3日(木)から配布します。  
ご希望の方は図書館カウンターまでお越しください。



## 金曜映画会

### 『伊豆の踊子』

日 時 5月25日(金)  
午前10時から  
上映時間 1時間25分  
場 所 2階ハイビジョンホール  
定 員 先着100名  
※整理券は不要です



## 文 芸

### ◆俳句

- 花冷えや右往左往と選挙カー 浅野 茂子
- 口笛に初音入り来る歩を返す 池田 逸子
- 風光る太東岬の銃座跡 伊藤 敬子
- 紅をさす鏡の中も春景色 魚地 照子
- 雨上り田の面一面陽炎ひし 今関満喜子
- 芽吹く中くるりくると風小僧 江森 悦子
- 床の間に活けし一枝初桜 大谷 武彦
- 真亀納屋智恵子抄碑の春の海 川島 孝夫
- 町名の替えるも替えらじ桜花 川島 通則
- 残り花上野にダビンチ人を呼ぶ 桑名 大行
- 儂なさや香華たなびく涅槃西風 向後 寛
- 弥生月そろりと沈む露天風呂 小松 藤男
- 波の音ふと忘れさす揚雲雀 佐瀬 輝夫

おのが空飛行機雲や鳥帰る 宍倉 道子

若水や明けを待ちわび一人汲む 鈴木とし子

ひと日にはひと日の眺め桜かな 玉虫 栗扇

なつかしき祖父の温顔松露飯 戸村 静華

端麗の釈迦の面立ち灌佛会 福田 幸子

土筆野に縄文人と並び立つ 布施 和代

花満ちて一片散りぬ青空へ 山口 一秋

春雨や首傾げ佇つ地蔵どち 渡部 和秋

### ◆短歌

おのが名を既に知らし名を呼べば 乳歯出でたる口あけ笑ふ 押尾 輝子

畑隅にふたつ残せし球菜まで 小鳥ら食みて冬を越したり 永藤 滋

それぞれの思ひをうちに秘めるらし ぽピーの荳皆うつむけり 八角 三枝

駆け上り急行電車に間に合ひし 少女の動悸われに伝はる 佐瀬 初音

曾祖父が始めし念仏講吾が代で 辞めてはならじと継ぎてきにけり 吉岡 信子

都庁舎の四十六階に見てゐたり 遙かに遠き冠雪の富士 西山満里子

笑ふことは体に良しと友は言ひ 浅草演芸ホールに誘ひくられたり 田崎 尚美

離り住む息に持ちゆかむと里芋を 夜の厨に洗ひてゐたり 芹川 初子

春休み孫の手伝う野良仕事 鞆は音たつさくさくさくと 平山 芳子

暮れかかる古里の野を帰る来る 子等の姿も声も聞えず 長谷川正子

然りげ無き事を話題に遠住む娘 一日置きに電話かける 斎藤つね子

春の陽に黄なるミモザの花冴えて 庭の一隅明るくなりぬ 鈴木 正子